



薩摩川内市食生活改善推進員協議会が、2014年度栄養関係功労者知事表彰を受賞し、6月12日(木)、同協議会の森永靖子会長が岩切秀雄市長を表敬訪問しました。地域の栄養・食生活改善に携わった活動が高く評価されたものです。

著しい功績で  
知事表彰を受賞



2014国際親善空手選手権で輝かしい成績を収めた極真会館鹿児島県支部川内道場の3選手が、6月11日(水)、岩切秀雄市長を表敬訪問しました。訪問したのは石塚悠太郎さん(組手16~17歳男子75kg超級優勝)、有村咲良さん(形12~14歳女子の部準優勝)、有村千佳さん(形9歳の部第3位)です。今後のさらなる活躍が期待されます。

全国の舞台上で  
日頃の鍛錬の成果を発揮



5月28日(水)、市内の商業施設で「認知症サポーター養成講座」が行われました。これは、社員が認知症を知り、職場において対応するため同施設の依頼により行われたもの。受講者は「今後、お店に来られる認知症のお客さまに優しく接していきたい」と感想を述べていました。

正しい知識を持って  
職場で見守り、支えます



夏の日差しを待ちわびる  
満開のヒマワリ(白浜町)

平成26年6月17日撮影

市内各地から

夏の話題



6月6日(金)、来年開催される国民文化祭の薩摩川内市実行委員会第2回総会が開催されました。総会の後には、国民文化祭の開催日までの日数を告げるカウントダウンボードの撮影も行われました。同ボードは鹿児島県国民文化祭のホームページに掲載され、毎日更新されています。

来年の開催に向け  
カウントダウン!!



6月11日(水)、入来保健センターで「食の伝承塾」が開催され、いき幼稚園の園児と保護者が、ミニトマトの植え付けや野菜料理の試食を行いました。これは、市が食育の一環として実施したもので、参加した園児は、自分専用の鉢にミニトマトの苗を丁寧に植えていました。

入来  
家庭教育学級で  
「食の伝承塾」

表1：薩摩川内市のごみ量

(単位：トン)

	H22	H23	H24
資源	3,398	3,303	3,220
粗大ごみ	1,127	1,174	1,465
燃やせないごみ	1,022	993	980
燃やせるごみ	24,243	24,381	24,762
合計	27,790	29,851	30,427

私たちの日々の暮らしの中から必ず出るごみは、誰かが処理をしなければなりません。その処理には多くの経費がかかります。家庭から、ごみの減量に取り組みましょう。

表1から分かるように、総体で、わずかな増加しており、川内クリーンセンター最終処分場の埋立残容量も残り少なくなっています。ごみの量を大きく減らすためには、全体の約8割を占める「燃やせるごみ」の量を減らすことが重要です。

家庭で「燃やせるごみ」の減量化に取り組みましょう!

①使い捨て容器や使い捨て商品の使用抑制

物をできるだけ大事に使いましょう。また、詰替え商品を利用することで、ごみの量を減らすことができます。

②資源としての排出の徹底

特に、紙類(古封筒や新聞紙、チラシなどは、資源として出しましょう。

③生ごみの自家処理(堆肥化)の推進

市では生ごみ処理機器で、生ごみを堆肥化することを推奨しています。

自分のマナーを再確認

地域の収集所に出すもの

燃やせるごみ・燃やせないごみ

・午前8時までには収集所に出してください。

・指定袋を使用して出してください。

・水切りをしっかりとしてください。

・事業所で発生したごみは、出さないでください。

野焼きの禁止

たき火など一部例外として認められているものと、プラスチックなど絶対に燃やしてはいけないものがあります。

家庭では焼却をしないことが原則です。

また、焼却すれば煙が発生し、住宅にその煙がかかってしまうため、洗濯物が干せないなど、近隣の生活環境に支障をきたしてしまうことがあります。

資源物を出すときは

・自治会の収集時間を守ってください。

・最低限のルール(紙類は紙ひもでくる。

紙バック、缶、びん、ペットボトル、プラスチック類は、きれいに洗う)を守ってください。

・事業所で発生したごみは、出さないでください。

分別ルールを守って

ペットボトルやアルミ缶などの資源物は、きちんと分別しましょう。燃やせるごみの収集日に、資源物を混ぜて出したり、指定袋以外で出したりするなど、マナーの悪い例があります。

ごみについて考えてみましょう

その捨て方で大丈夫ですか

【問合せ】本庁環境課廃棄物対策グループ ②35111(内線2731・2733)

